

平成29年 1 月 11 日

第 1 回倉吉市議会臨時会議案提案理由説明

倉吉市長

あけましておめでとうございます。議案の説明に先立ちまして、一言述べさせていただきます。

今年は、例年になく天候に恵まれた穏やかな年明けとなりました。市議会議員の皆様、そして市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月には誘致を進めていた企業の操業開始、4月にはインターネットのアニメサイトであります「ひなビタ」と連携したイベントなどを実施し、大きな話題にもしていただいたところでもあります。また、新関金小学校の開校やインターハイの自転車競技、ワールドトレイルカンファレンス、山上憶良1300年記念事業などのいろいろなイベントや大会など、盛り上がりを作ることができたのではないかと考えています。その他、一昨年策定した「倉吉市未来いきいき総合戦略」の取り組みや、第11次総合計画後期基本計画のスタートもさせていただいたところでもあります。そうした中で、10月21日に鳥取県中部地震が発生しました。

昨年は全国的にも、熊本地震や台風10号、福島県沖地震、年末には茨城県北部の地震、そして糸魚川の大火災と本当に災害の多い一年でもありました。

改めまして被災されたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、心のこもった支援物資のご提供や多大な義援金・見舞金を頂戴した皆様、自治体から派遣をいただきました職員、ボランティア、関連業界の皆様など、本当に多くの方々のご支援をいただきました、すべての皆様に厚くお礼を申し上げます。

地震発生から3か月近くを迎えようとしています。避難された方も12月16日をもって帰宅をされ、21日には避難所の閉鎖をすることができました。余震も少なくなり、少しずつ落ち着きを取り戻して来たように感じていますが、ブルーシートは未だに掛けられたままですし、本格的な復旧はこれからという状況であります。

現在、家屋の被害認定に係る1次調査はほぼ完了し、り災証明の発行を進めており、必要に応じて2次調査を進めているところでもあります。できるだけ早く、り災証明や住宅再建などの支援の手続きなどが進められるよう努力していきたいと思っております。

また、体育施設や教育施設などの利用施設なども多く被災をしております。多くのイベントや行事、あるいは団体の活動などにも支障が生じている現状がありますので、早急にこれらの復旧を進め、一日も早く市民の皆様が元通りの生活に戻っていただけるよう精一杯努力してまいりたいと思っております。

今後は復旧の状況を見ながら、イベントなどの開催を通じて元気な倉吉の姿を発信していきたいと思えます。倉吉市は、都市の住みよさランキングで高い評価をいただけており、地震は発生いたしましたけれども、まさに暮らしやすい街であると思っております。地震の復旧・復興とともに、その良さを実感していただけるように市民の皆様とともに元気な倉吉づくりに邁進していきたいと思っておりますので、議員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

それでは、ただいま上程されました諸議案につきまして、その概要をご説明申し上げます。

今議会に上程されました議案は、  
予算案件 2件 であります。

初めに、議案第1号 平成28年度倉吉市一般会計補正予算(第9号)についてであります。国の補助を受けて行う災害復旧費について、その概算額がまとまったことなどから、補正予算をお願いするものです。

まず、公共施設災害復旧事業についてであります。

小中学校及び陸上競技場などの災害復旧を行おうとするもので、6億5,200万円余を計上しております。

次に、自治公民館災害復旧事業についてであります。

自治公民館の災害復旧を支援するもので、2,500万円余を計上しております。

次に、単県斜面崩壊対策事業についてであります。

人家に被害を及ぼすおそれがある急傾斜地の崩壊対策を行おうとするもので、1,900万円を計上しております。

以上、補正の総額は7億400万円余の増額で、補正後の予算総額は347億3,900万円余となります。

次に、議案第2号 平成28年度倉吉市国民宿舎事業特別会計補正予算(第2号)についてであります。

これは、国民宿舎グリーンスコーレの災害復旧に要する経費として、700万円余を計上するものです。

以上、今回提案しました諸議案につきまして、その概要をご説明いたしました。  
よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。